

翻訳にあたってのヒント

その 32

みる（見・看・視・観・覧・診る）！

先日、英訳を依頼された翻訳文の題名に“「業界の動き」を気ままに WATCH”と書かれていた。「業界の動き」もさることながら、「気ままに WATCH」も理解に苦しむ日本語である。まずどの業界かも指定されていないし、英語の”watch”には、「～を意識して見る」「～を観る」（～を意識・注意して見ること [じっと見る・見守る・注視する・観察する・監視する・見物する・動くものや人をじっくりと見る]）という意味がある。このことからして、”watch”は目を凝らして見るという行為を指す言葉だと言えるのだから、気ままに Watch なんてへんな日本語をそのまま英語で表現すること自体がナンセンスだと考えた。一口に「みる」と言っても表題に書いたように、その意味は状況に応じて異なるものである。この他に相当する英語としては、”see”と”look”もある。だが、”see”の方には「～を見る」（何かのイメージが目に入ること [見える・見て知る・目に入る・見物する]）、一方の”look”には「～を看（視）る」（人・物に目を向けること、向けて目を通すこと [注目する・見ようとする・～の方を向く・直視する・見て確かめる・見る意志をもって視線を向ける]）といったようなニュアンスだ。さらに”view”や”observe”もあるが、それぞれ「眺める」「観察する」のニュアンスがありこれもだめだ。どの「みる」もこの文脈にはそぐわない。さて困った。日本語原文にある”watch”から「みる」にこだわって英訳するとこの文は見るかからおかしい英文になってしまう。ここから七転八倒が始まり、この一文を英訳するだけでもかなりの時間を費やしてしまった。こんな時は、発想を転換しこの日本語がいわんとすることを言い換えるしかない。そこで私は”watch”のニュアンスを出すのに「～を把握し続ける」という日本語をあてはめて訳すのがいいと考えた。そして四苦八苦の末、最終的に次のような英訳に落ち着いた…。 Stay in touch with developments in business world at your pleasure.

が、この英訳が完璧だとはとても断言できない。例えば、”Stay in touch with ...”を”Stay informed of ...”に変えた方がよさそうだとも思えるし、”at your pleasure”に英訳した「気ままに」のところを大胆に発想を変えて「自発的に」というニュアンスで”of (on) your own motive (will, free will, initiative, motion, volition)”とした方がいいかもしれないし、「業界」を「実業界」ととらえて”business world”と英訳したところも改善の余地ありで、いつものことだが、ここでもまた翻訳の産みの苦しみを思い知らされた次第である。「労多くして功少なし」これが実務翻訳の側面だ。

以上これにて翻訳一口メモ 32 回目終わり。

